

ひきこもり支援ニーズに関する調査結果について

1 調査概要

(1) 目的

ひきこもりに関する社会的理解の醸成や支援施策の充実に向けて、市民の皆さまにひきこもり支援についてご理解いただくとともに、ひきこもりの実態や支援のニーズについて幅広く把握することを目的として実施した。

(2) 調査名称：市民の生活状況に関する調査 ―ひきこもり支援の充実に向けて―

(3) 調査対象：仙台市内に居住する 15 歳から 64 歳の方が属する全世帯 (408,759 世帯)

※調査基準日：令和 5 年 5 月 1 日

(4) 調査方法：調査票をポストイングにより対象世帯に配付し、返信用ハガキ又は専用 web ページ上で回答をいただく。

(5) 調査期間：令和 5 年 8 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

(6) 回答数：33,959 世帯 (回答率 8.3%)

2 結果概要

(1) ひきこもり状態(※)の方がいると回答いただいた世帯

3,325 世帯 (3,956 人) (資料 4-2 の 6 ページ Q6 参照)

※「仕事や学校などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない状態」にあてはまる方

(2) ひきこもり状態の方がいる世帯 (3,325 世帯) からの主な回答内容

①回答者 (資料 4-2 の 7 ページ Q7 参照)

「ひきこもり状態の方本人」 (47.8%) と「本人以外」 (50.5%) の割合は、ほぼ同じとなっている。

ひきこもり状態の方本人：47.8%	本人以外：50.5%	無回答：1.7%
-------------------	------------	----------

②性別 (資料 4-2 の 7 ページ Q8 参照)

男性 (48.4%)、女性 (47.5%) の割合は、ほぼ同じとなっている。

男性：48.4%	女性：47.5%	無回答：4.1%
----------	----------	----------

③年代 (資料 4-2 の 8 ページ Q9 参照)

「50 代」 (18.1%) の割合が最も多く、次いで「40 代」 (17.2%)、「30 代」 (16.2%) の順となっている。

20 歳未満：9.4%	20 代：14.5%	30 代：16.2%	40 代：17.2%	50 代：18.1%
60 代：10.4%	70 代：3.8%	80 歳以上：4.8%	無回答	5.7%

④外出状況 (資料 4-2 の 8 ページ Q10 参照)

「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」 (43.7%) の割合が最も多く、

次いで「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」(38.6%)が多い。

ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する：38.6%
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける：43.7%
自室からは出るが、家からは出ない：10.7%
自室からほとんど出ない：2.9%
無回答：4.1%

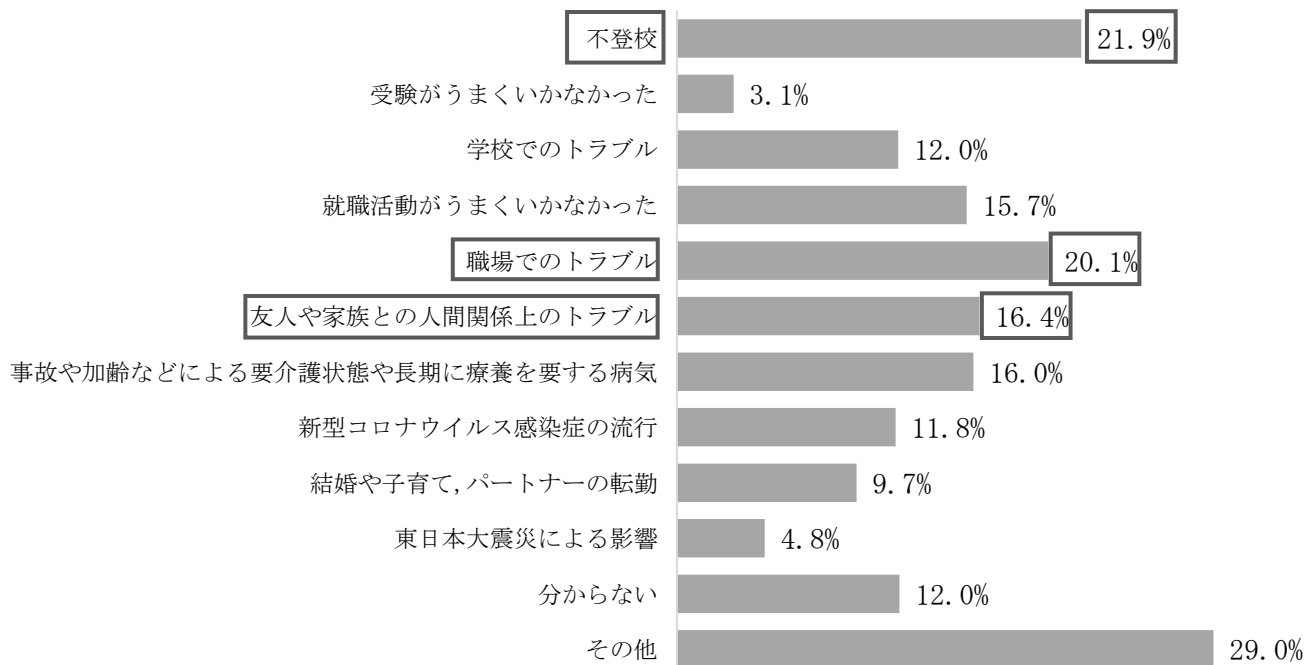
⑤ひきこもり期間(資料4-2の9ページ Q11参照)

「10年以上」(27.1%)の割合が最も多く、次いで「1年～3年未満」(21.4%)、「5年～10年未満」(16.8%)の順となっている。

6か月未満：8.5%	6か月～1年未満：8.4%	1年～3年未満：21.4%
3年～5年未満：14.9%	5年～10年未満：16.8%	10年以上：27.1%
無回答：2.8%		

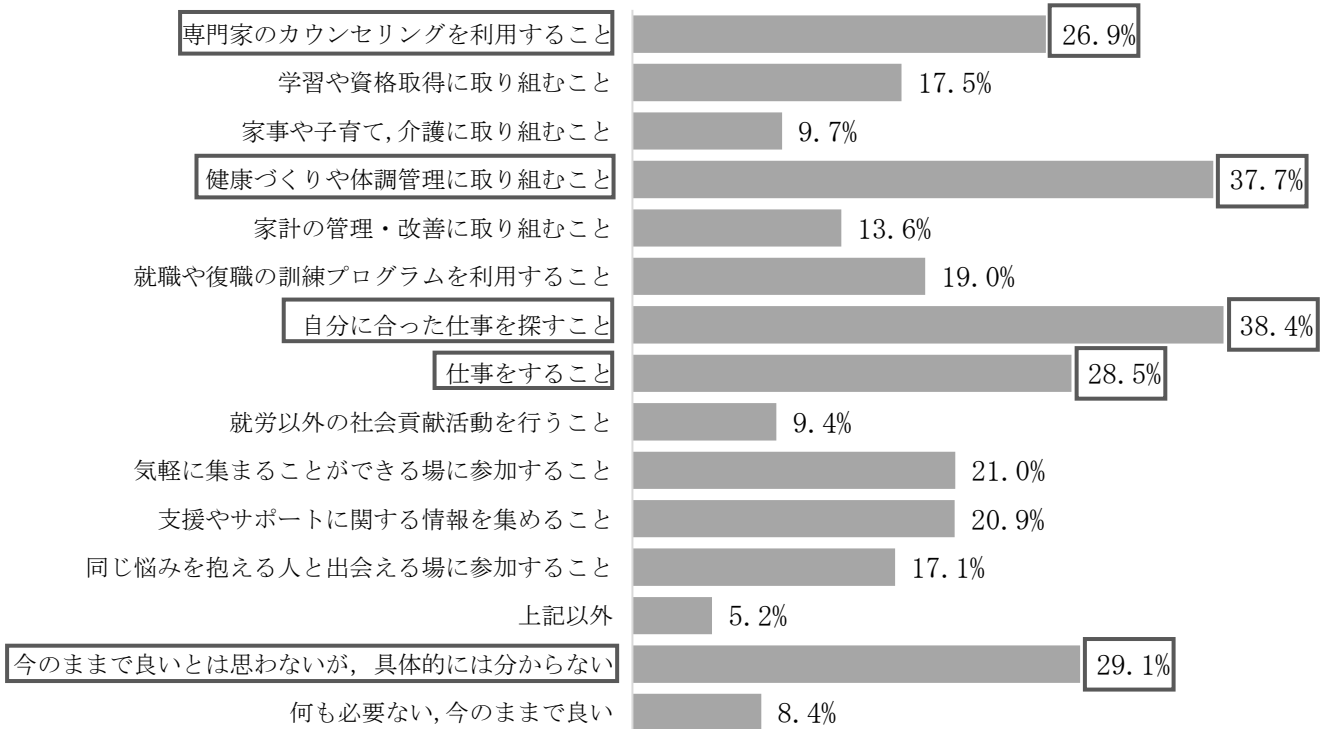
⑥ひきこもりのきっかけ(資料4-2の9ページ Q12参照)

「その他」(29.0%)を除き、「不登校」(21.9%)や「職場でのトラブル」(20.1%)の割合が多く、次いで「友人や家族との人間関係上のトラブル」(16.4%)が多い。



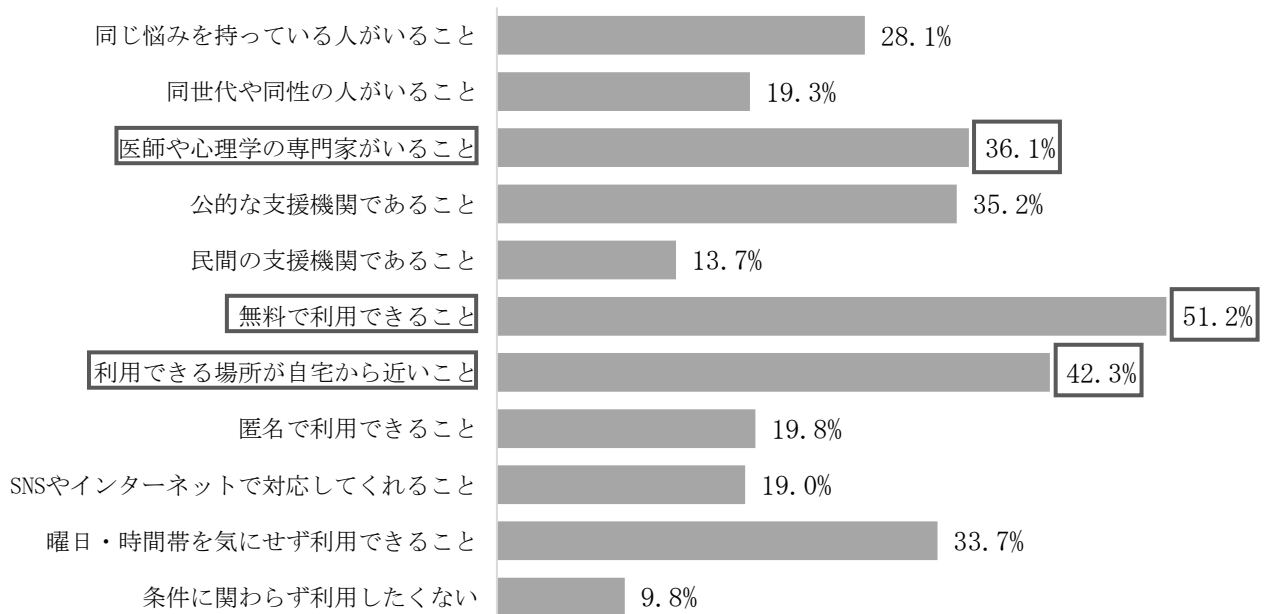
⑦自分にとって必要なこと（資料4-2の10ページ Q13 参照）

「自分に合った仕事を探すこと」（38.4%）や、「健康づくりや体調管理に取り組むこと」（37.7%）の割合が多く、次いで「今のままで良いとは思わないが、具体的には分からない」（29.1%）、「仕事をする事」（28.5%）、「専門家のカウンセリングを利用すること」（26.9%）の順となっている。



⑧サポートやアドバイスを受ける場合の条件（資料4-2の11ページ Q14 参照）

「無料で利用できること」（51.2%）の割合が最も多く、次いで「利用できる場所が自宅から近いこと」（42.3%）、「医師や心理学の専門家がいること」（36.1%）の順となっている。



⑨専門機関や医療機関への相談歴（資料4-2の12ページ Q15参照）

「相談したことはない」（42.2%）の割合が最も多く、次いで「相談したことがあり、現在も相談している」（29.7%）と「相談したことはあるが、現在は相談していない」（24.9%）がほぼ同じとなっている。

相談したことがあり、現在も相談している：29.7%

相談したことはあるが、現在は相談していない：24.9%

相談したことはない：42.2%

無回答：3.2%